

## 第2回 清水港防災対策連絡協議会 議事次第

日 時：平成 26 年 5 月 20 日(火) 14:00～16:00

場 所：清水マリンビル5階 県団体会議室

1. 開 会
2. 主催者挨拶
3. 参加者紹介（名簿・座席表にて）
4. 学識者アドバイザーの就任について
5. 協議会 議 事
  - (1) 緊急物資輸送及び港湾物流の継続について
    - ・被害想定(案)について
    - ・機能回復目標(案)について
    - ・発災後の行動計画(案)について
    - ・事前対策(案)について
  - (2) 津波避難誘導計画について
    - ・県4次想定を踏まえた津波避難誘導計画
    - ・大学等による実践型研究（津波防災）について
  - (3) 今後の業務について
    - ・みなと機能継続計画書の取り纏め方針について

### 【配布資料】

- ・座席表
- ・協議会次第、名簿
- ・学識者アドバイザーの就任について
- ・資料1 被害想定(案)について
- ・資料2 機能回復目標(案)について
- ・資料3 発災後の行動計画(案)について
- ・資料4 事前対策(案)について
- ・資料5 津波避難誘導計画(案)について
- ・資料6 今後の業務の内容と工程(案)について
- ・資料7 清水港みなと機能継続計画書(案)
- ・地域防災実践型共同研究の提案

[表] 清水港防災対策連絡協議会 委員・幹事 名簿 ※青字は第1回協議会(H25.7)から変更

区分	団体・機関等の名称	委員	幹事 (部会員)	小 部 会		
				津波避難誘導	緊急物資	コンテナ
民間団体等 (50音順)	静岡県清水地区石油コンビナート等特別防災区域協議会	会長(鈴木専務取締役) 西尾 忠久	事務局(鈴木袖師埠頭事業部長) 山下 哲哉			
	静岡県倉庫協会清水支部	支部長(榊天野回漕店代表取締役会長) 小長谷 修誠	事務局(榊天野回漕店執行役員国内物流部長) 十川 久雄	○	○	
	静岡県内航海運組合	理事長(鈴木海運(株)専務取締役) 松下 宗一	事務局長 浅場 幸夫			
	静岡県旅客船協会	会長(株エスパルストリームフェリー代表取締役相談役) 住井 直道	事務局長(株エスパルストリームフェリー-運航管理部次長) 田島 昇			
	清水海運貨物取扱同業会	会長(清和海運(株)代表取締役社長) 宮崎 總一郎	事務局長(清和海運(株)輸出入物流部営業担当主幹) 小林 良夫	○		○
	(一社)清水建設業協会	会長(株薩川組取締役社長) 薩川 諭	事務局長 内藤 樹		○	○
	清水港上屋利用組合	理事長(鈴木専務取締役) 西尾 忠久	事務局長 富田 洋史	○	○	
	清水港運協会	会長(鈴木専務取締役) 西尾 忠久	事務局長 朝日 唯好	○	○	
	清水港曳船三社会	代表(清水埠頭(株)曳船部長) 遠藤 正	事務局(清水埠頭(株)曳船部 課長) 濱根 治樹		○	
	清水港港湾建設工事安全協議会	会長(鈴木建設(株)取締役 土木事業部長土木営業部長) 松浦 真明	委員(鈴木建設(株)土木事業部長) 奥山 守		○	○
	清水港再生委員会 危機管理関係部会	部会長(アオキトランス(株)代表取締役社長) 遠藤 修	事務局(アオキトランス(株)海貨本部 営業第三グループリーダー) 加藤 和重	○		○
	清水港石油災害防止会	会長(東燃セネラル石油(株)清水油槽所長) 岡本 俊彦	東燃セネラル石油(株)清水油槽所環境安全課 川口 儀忠			
	清水港船舶代理店会	副会長(鈴木専務取締役船舶代理店部長) 村岡 一男	事務局(鈴木専務取締役船舶代理店部オペレーション課長) 森下 康成			
	清水港利用促進協会	幹事長(鈴木専務取締役) 西尾 忠久	常務理事 小坂 良治			
	清水コンテナターミナル(株)	常務取締役 田村 光史	取締役総務部長 山村 善敬			○
	清水船舶情報センター (株)東洋信号通信社	リーダー 荻野 臨太郎	-			
	清水ポートネット(株)	代表取締役社長 新聞 克樹	事務局 若林 淳			○
	清水水先区水先人会	会長 檜垣 漸	-			
	清水埠頭(株)	常務取締役 向島 克彦	取締役総務部長 大栗 高			
	(一社)日本海上起重技術協会 中部支部	支部長(青木建設(株)代表取締役) 佐野 茂樹	事務局長(青木建設(株)取締役生産事業部長) 星合 信行			
行政機関	中部地方整備局 清水港湾事務所	所長 加賀谷 俊和	沿岸防災対策官 江口 秀人		○	
	中部運輸局 静岡運輸支局	次長 菊川 幸信	-			
	清水海上保安部	部長・清水港長 田村 安正	交通課長 柏木 秀美		○	
	静岡県交通基盤部 港湾局港湾企画課	港湾企画課長 柳本 仁	港湾計画班長 市野 智一	○		
	静岡県危機管理部 危機対策課	危機対策課長 植田 達志	専門監 榊原 正彦			
	静岡県危機管理部 消防保安課	消防保安課長 塩崎 弘典	産業保安班長 堀池 利行			
	静岡県中部危機管理局	副局長 伊東 俊一	危機管理班長 加藤 広視			
	清水警察署	署長 加藤 雅美	警備課長 三坂 滋康			
	静岡市総務局 危機管理部防災対策課	防災対策課長 小長谷 敏行	参事 新村 敏明			
	静岡市経済局 商工部清水港振興課	経済局商工部港湾担当部長 西山 祐一	清水港振興課長 村松 正章			
	静岡市消防局 警防部警防課	警防課長 村田 吉伸	参事兼課長補佐 岩邊 友好			
	【事務局】静岡県清水港管理局	局長 原 隆一	企画振興課専門監 齋藤 昌昭	○	○	○

# 第2回 清水港防災対策連絡協議会 座席表

平成26年5月20日 14:00～16:00  
清水マリビル5階県団体会議室

出入口

スクリーン

プロジェクター

幹事席

幹事席

静岡県清水地区石油コンビナート等特別防災区域協議会  
(代理)事務局 諏訪 静男

静岡県倉庫協会清水支部  
支部長 小長谷 修誠

静岡県内航海運組合  
理事長 松下 宗一

静岡県旅客船協会  
会長 住井 直道

清水海運貨物取扱同業会  
(代理)事務局長 小林 良夫

(一社)清水建設業協会  
(代理)事務局長 内藤 樹

清水港上屋利用組合  
(代理)事務局長 富田 洋史

清水港運協会  
会長 西尾 忠久

清水港曳船三社会  
代表 遠藤 正

中部地方整備局清水港湾事務所  
所長 加賀谷 俊和

中部運輸局 静岡運輸支局  
次長 菊川 幸信

清水海上保安部  
部長・清水港長 田村 安正

(一社)日本海上起重技術協会  
中部支部  
(代理)事務局長 星合 信行

清水埠頭(株)  
常務取締役 向島 克彦

清水水先区水先人会  
会長 檜垣 漸

清水ポートネット(株)  
(代理)事務局長 若林 淳

清水船舶情報センター  
(株)東洋信号通信社  
リーダー 荻野 臨太郎

清水コンテナターミナル(株)  
常務取締役 田村 光史

清水港利用促進協会  
(代理)常務理事 小坂 良治

清水港船舶代理店会  
副会長 村岡 一男

清水港石油災害防止会  
(代理)川口 儀忠

清水港再生委員会危機管関係部会  
部会長 遠藤 修

静岡市総務部危機管理部  
防災対策課長 小長谷 敏行

静岡市経済局商工部  
港湾担当部長 西山 祐一

静岡県  
危機対策  
課長  
植田 達志

静岡県  
保安課  
課長  
塩崎 弘典

静岡県  
中部危機  
管理  
局 伊東 俊一

静岡県  
清水港  
管理局  
局長 原 隆一

静岡県  
交通基盤  
整備部  
部長 杉山 雄二

清水警察署  
(代理)警備課長 三坂 滋康

静岡市  
消防局  
消防部  
部長 村岡 吉伸

出入口

幹事席

事務局

幹事席

# 学識者アドバイザーの就任について

国土交通省 国土技術政策総合研究所（国総研）

沿岸海洋・防災研究部 危機管理研究室 水谷 雅裕 室長

平成25年度より現職

前 国土交通省 近畿地方整備局 神戸港湾空港技術調査事務所長

土木学会 安全問題研究委員会 BCP小委員会 委員

## ○ 危機管理研究室の紹介

大規模自然災害、テロ、事故等の不測の出来事が引き起こす危機等に対応するための体制や手続きなどに関して、災害時の物流維持のためのBCP、テロ発生防止及び発生時における物流の効率化と国際輸送保安対策のあり方、災害廃棄物の処分方策等に関する研究を行っている。

### 研究課題

- ・大規模災害発生時における港湾BCPに関する研究
- ・物流の効率化と国際輸送保安対策のあり方に関する研究
- ・災害廃棄物の処分方策に関する研究

# 地域防災実践型共同研究の提案

港湾労働者のための津波防災研修プログラムの開発

はやし よしなり

## 林 能成

関西大学 社会安全学部 准教授  
静岡大学 防災総合センター 客員准教授

2014年5月20日(火)14:00～16:00 第2回清水港防災対策連絡協議会 清水マリビル5階 県団体会議室

## 津波避難場所・避難経路

- 清水港管理局などが中心になって整備を進めている。
- 港湾で働く多くの人々が地域内の防災施設を知り、いざというときに活用できることが必要。
- 最寄りの避難場所を1つ知っているだけでは「想定外」になる可能性がある。2番目の避難場所や、避難途中のルートにある危険箇所などを各自が把握することも必要。

# ゲーム形式で地域をめぐり現地を確認する

## ● 「防災ロゲイニング」

- 静岡高校の美澤綾子教諭(理科)が開発。
- 地域内の防災関係ポイント(エレメント)を効率よくまわり獲得した得点を競うゲーム。
- 特徴
  - 地域を実際に見る。
  - 真剣に地図を見て通行ルートを検討する。
  - 自主的に動くため記憶に定着しやすい。

### 自ら歩き「防災の視点」

静岡大など  
セミナー ロゲイニング紹介

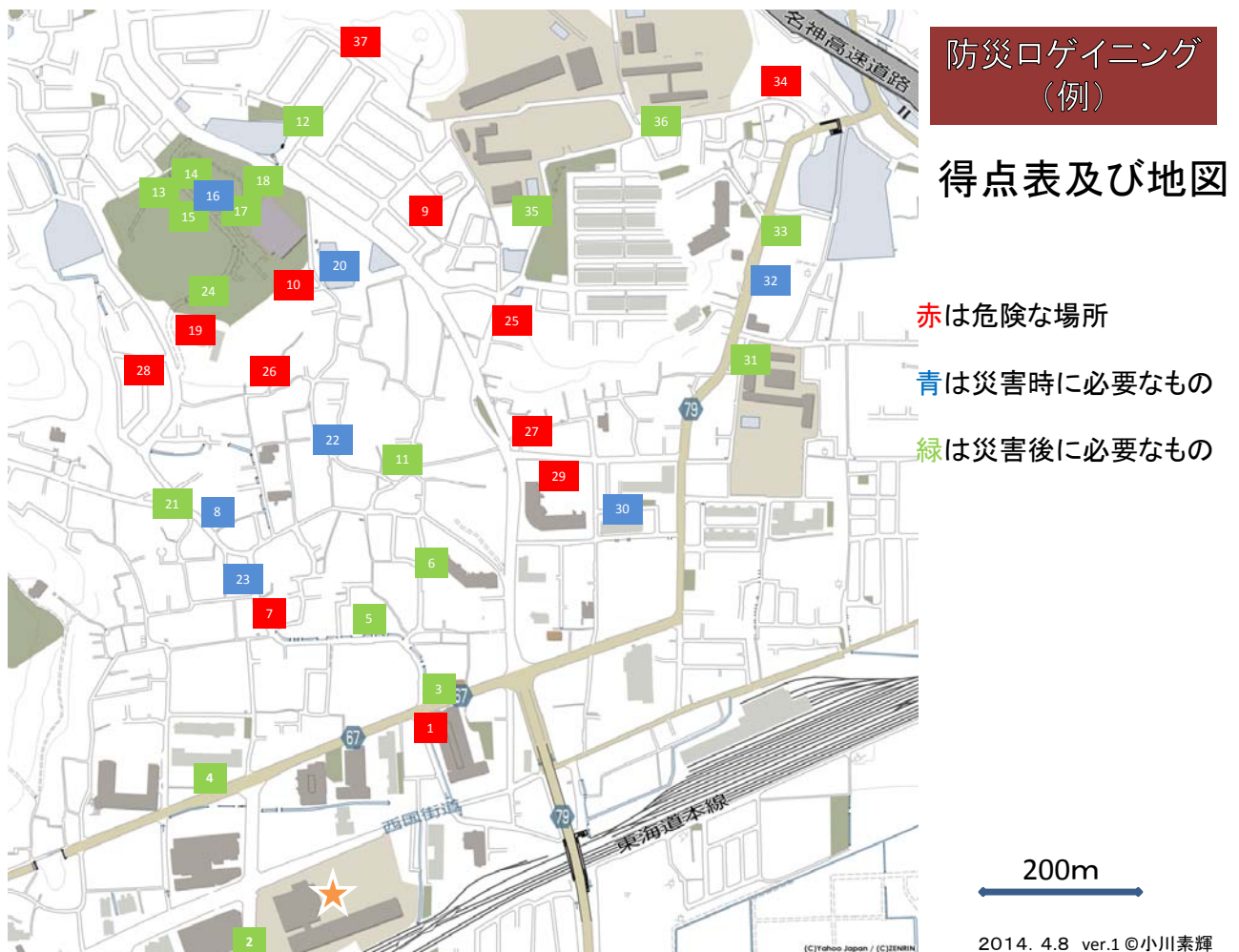
静岡大防災総合センターが開発した教材に挑戦した。約30人が参加し、「防災ロゲイニング」など同検討会メンバーが10日、静岡市駿河区の同大で開かれ、防災の視点から地域を見る力を養う。制限時間やポイント別の

「防災ロゲイニング」が開発した教材に挑戦した。約30人が参加し、「防災ロゲイニング」など同検討会メンバーが10日、静岡市駿河区の同大で開かれ、防災の視点から地域を見る力を養う。制限時間やポイント別の

このほか、下の句が「しずか防災かきた」も紹介した。17日午前10時半〜午後3時半に同大で開催する。問い合わせは検討会入電 honsai@yahoo.co.jp

掛川市は「ゲーム

2013年2月11日(月) 静岡新聞 朝刊 26面



# 防災ロゲイニング(高槻ミュージックキャンパス編)

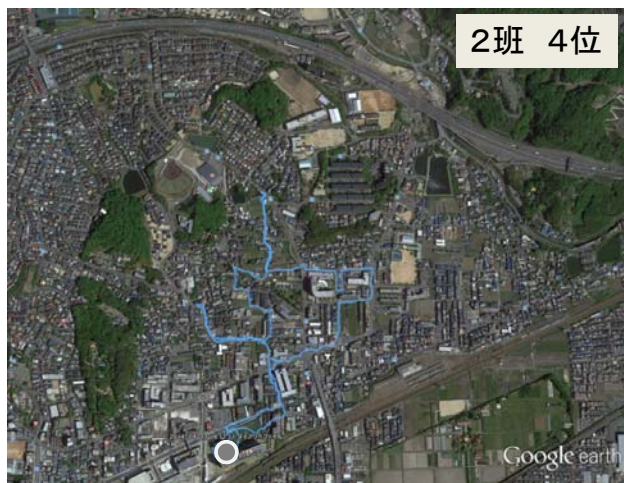
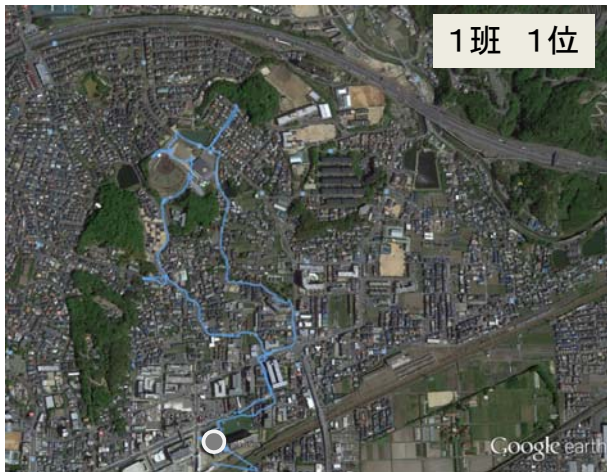
## 防災ロゲイニング (例)

### 競技について

☆以下のポイントに行き同じ構図で写真を撮る。その際に、撮影者以外の班員が写真に写ること。

☆歩いて移動すること。もし走っているところを見かけたら**減点**。

☆制限時間内に帰ってこなかった場合には、1分5点**減点**する。



# 現在の状況と今後の展開予定

- 京都大学防災研究所の「地域防災実践型共同研究(一般)」に応募し審査中。
- 防災ロゲイニングコースの試作にかかる準備を進めている。
- コースができた段階で、協力者を募り、テスト的に一度実施。
- その後、防災の日前後などの日程で、関係者を集めて実施。
- 将来的には年に1度程度、研修などの場を使って定期的の実施して、避難施設、避難ルート把握に向けた「大人のための防災教育」を実施したい。

研究課題 (日本語/ 英語)	港湾労働者のための津波防災研修プログラムの開発 Development of Educational Program for Disaster Management in an International Important Harbor		
研究場所	清水港 (国際拠点港湾, 静岡県静岡市清水区)		
研究期間	平成26年6月 から 平成28年3月 まで2年間		
研究組織 (研究協力者) (*2)	氏名	所属・職名	役割分担等
	(代表者名) 林 能成	関西大学社会安全学部・准教授	総括、歴史災害の整理、ロゲイニングコース作成
	伊藤 喜宏	京都大学防災研究所・准教授	南海トラフ地震についての学術的知見の提供
	藤井 直之	静岡大学防災総合センター・客員教授	東海地震に関する歴史的知見の提供
	原 隆一	静岡県清水港管理局・局長	清水港の防災対策に関する情報の提供
	八木 宏晃	静岡県交通基盤部・主査	ロゲイニングコースの作成助言
	諸橋 良	静岡県静岡土木事務所河川改良課・主査	ロゲイニングコースの作成助言
	美澤 綾子	静岡県立静岡高校・教諭	歴史災害の整理、ロゲイニングコースの作成
	五味 郷子	静岡市番町市民活動センター・所長	研修プログラム検討・実施
	小野寺 郷子	会議ファシリテーター普及協会	研修プログラム検討・実施